

ボーイスカウト横浜1団

ビーバー通信

5月のテーマ「みなと よこ〜はま〜♪」



5 がつ 10 にち (にちようび)

ないよう 「グリフィンさい」
ボーイスカウトのれきしをまなぼう

しゅうごう 9じ
ちかてつぐみょうじえき
ばしょ がいじんぼち
もちもの ビーバーノート
すいとう



5 がつ 24 にち (にちようび)

ないよう 「たいしゅうかい」
まちをたんけんしよう

しゅうごう 9じ
おおはしちょうないかいかん
もちもの ビーバーノート
すいとう



まきむすび



父母の方へ （隊集会プログラムの詳細はメールで連絡いたします。
事情によりビーバー通信と内容異なることございます）

日本のボーイスカウト創始者のお墓まいりです。
横浜 1 団は同名なのですが、昭和 21 年創設です。

【グリフィン祭】

日本のボーイスカウトは、イギリス人クラレンス・グリフィン氏が、横浜で外国人の 17 名の少年によって 1911 年（明治 44 年）に最初に組織され、翌 1912 年に、ベーデン・パウエル氏がミネソタ号で日本訪問の為、横浜に入港した時、グリフィン氏の率いる横浜第 1 団ボーイスカウト隊は小船で出迎えました。

1918 年（大正 7 年）には、ブラザー・ジャニング氏がセントジョセフの学生により国際第 1 隊を、1921 年（大正 10 年）には、劉満章氏が志成中学の生徒により童子軍を、1924 年（大正 13 年）には、笹川幹氏がロンドン留学時のスカウト生活をもとに横浜本牧少年団を組織しました。

グリフィン氏は 1951 年（昭和 26 年）に帰らぬ人となりましたが、その遺言は「私の財産全部を日本のボーイスカウトに寄付する。葬式は花輪もいらないし、一番簡単にしてもらいたい。ただ遺骨はボーイスカウトの手で埋めて欲しい」というものでした。グリフィン氏は今も山手の外人墓地に眠っています。

※現在の横浜 1 団は大正 15 年に「横浜海洋少年団」が創設され、その後昭和 16 年に「Y 校海洋班」、昭和 21 年にモデル隊として「ボーイスカウト横浜第一隊」となり現在に至っています。

連盟歌はよく歌われます。カブに上進する前までに歌えるようにしましょう。

ス カ ウ ト 我 等 の 準 備 ぞ 固 き	準 備 準 備 固 き ぞ 準 備	手 足 に 心 に あ あ 準 備	我 等 に 不 断 の 準 備 あ り	眼 開 き て 見 極 め よ	2	ス カ ウ ト 我 等 の 名 誉 ぞ 重 き	フ レ フ レ フ レ	名 誉 名 誉 重 き ぞ 名 誉	薫 り か 光 り か あ あ 名 誉	我 等 に 名 誉 の 重 き あ り	日 は 輝 く よ 日 の 光	1 花 は 薫 る よ 花 の 香 に
--	---	---	--	--------------------------------------	---	--	----------------------------	---	--	--	--------------------------------------	--